

Homodes vivida Guenée ニジオビベニアツバの記録 藤平 明²

兵庫県の淡路島で表記の種を採集したので報告する。

本種の基産地はインドで、国内では本土南西部に分布、高知県、福岡県英彦山、宮崎県日之影町などに少数の記録があるようである（日本蛾類大図鑑 講談社）。

淡路島では初めての記録であり、中西明德氏（人と自然の博物館）によれば兵庫県でも記録がないとのことである。

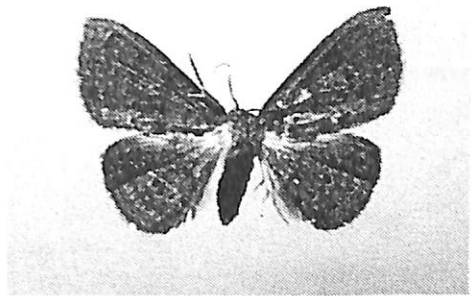
さらに徳島県立博物館の大原賢二氏に徳島県での状況をお聞きしたところ、徳島県での記録はまとまっていないということで、香川県環境研究センターの増井武彦所長を紹介された。

同氏によると、四国での初記録の発表は1971年、高知県西土佐山村（小林）。その後、高知市内で1985年（中村）、河上が足摺岬（1971）、室戸岬（1983）、須崎市ほか（1985）、愛媛県では1998～1999年にかけて（片岡）、香川県では1993年（増井）が初記録を報告している。隣の徳島県では未発表であるが、池田町、海南町、日和佐町で記録がある。今まで、四国では24地点、63頭採れているとのことである。

また、1990年ころから徐々にこの南方種が北上しかけており、今や、香川県のような北部まで侵入したと思います。平地の照葉樹林を中心に分布を拡大中と思う、とのご教示をいただいた。

一般に5月上旬～11月上旬に出現しており、一番多くは9月上旬とのこと。昨年は暖かかったというものの、南方系の種が淡路島でしかも11月に得られたのは珍しいのではないかとデータを下記に示す。

1. 採集地 南淡町福良丙（環境庁メッシュ地
図 5134-25-94） 2. 採集年月日 8.Nov.1999 3. 開張 約24mm. 4. 採集方法 灯火採
集 5. 採集者 藤平 明



（ふじひら あきら）

イッシキガガンボモドキを安乎町で採集 堀田 久³

イッシキガガンボモドキ *Bittacus isschikii* は、これまでに五色町と津名町で採集されているが、（本誌 No.39, No.42）、筆者は下記のように本種を採集しているので報告しておく。

2: 〒656 0511 三原郡南淡町阿万上町 794

3: 〒656 2124 洲本市安乎北谷 630